

Mizuho Daily Market Report

2024/1/22

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	148.27	148.12	▲0.04	+3.24
EUR	1.0880	1.0898	+0.0022	▲0.0053
AUD	0.6581	0.6597	+0.0024	▲0.0089
SGD	1.3421	1.3408	▲0.0033	+0.0094
CNY	7.1931	7.1934	▲0.0029	+0.0259
MYR	4.7188	4.7185	▲0.0005	+0.0708
THB	35.55	35.52	▲0.08	+0.46
IDR	15615	15615	▲5	+65
PHP	55.95	55.97	+0.14	+0.04
INR	83.12	83.07	▲0.05	+0.15
VND	24527	24550	+17	+45

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.123%	▲1.9 bp	+18.4 bp
日本(10年)	0.668%	+1.7 bp	+6.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.342%	▲0.7 bp	+15.8 bp
オーストラリア(5年)	3.913%	+2.2 bp	+18.6 bp
シンガポール(5年)	2.849%	+6.4 bp	+16.7 bp
中国(5年)	2.394%	▲0.8 bp	▲1.1 bp
マレーシア(5年)	3.584%	▲1.3 bp	+4.9 bp
タイ(5年)	2.453%	+0.7 bp	+3.4 bp
インドネシア(5年)	6.477%	▲2.5 bp	▲4.7 bp
フィリピン(5年)	5.894%	▲0.3 bp	▲2.9 bp
インド(5年)	7.098%	+0.5 bp	+0.2 bp
ベトナム(5年)	1.400%	+0.0 bp	▲30.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	37,863.80	+1.1%	+0.7%
N225(日本)	35,963.27	+1.4%	+1.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,448.83	▲0.1%	▲0.7%
ASX(オーストラリア)	4,079.87	▲0.0%	▲2.1%
FTSE(シンガポール)	3,152.29	+0.4%	▲1.2%
SSEC(中国)	2,832.28	▲0.5%	▲1.7%
KLSE(マレーシア)	71,683.23	+0.7%	▲1.2%
SETI(タイ)	7,227.40	▲0.4%	▲0.2%
JKSE(インドネシア)	1,486.37	+0.5%	▲0.1%
PSE(フィリピン)	6,503.54	▲0.1%	▲2.1%
SENSEX(インド)	1,382.51	+0.3%	▲2.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,181.50	+1.1%	+2.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	265.38	▲0.0%	+0.4%
金	2,029.49	+0.3%	▲1.0%
原油(WTI)	73.41	▲0.9%	+1.0%
銅	8,271.76	+0.6%	+0.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.00	—	148.50
EUR/USD	1.0820	—	1.1080
AUD/USD	0.6480	—	0.6680
USD/SGD	1.3240	—	1.3470
USD/CNY	7.1800	—	7.2150
USD/INR	4.6600	—	4.7580
USD/THB	34.28	—	35.82
USD/IDR	15430	—	15730
USD/PHP	55.40	—	56.48
USD/INR	82.60	—	84.00
USD/VND	24,100	—	24,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は148円台前半でオープン。日本株が堅調に推移し5・10日による実需のドル買いもあり、ドル円は上昇推移。鈴木財務相による円安牽制発言を受け小幅反落するも、その後は押し目買いもあってか年初来高値の148円台後半まで上値を伸ばし欧州へ渡った。アジア通貨は概ね横ばい。米利下げ織込みが後退を受けたアジア通貨の下落も一服する中、方向感に欠ける展開が継続した。

海外時間のドル円は欧州時間、米10年債利回りやクロス円の下落を伴って147円台後半まで反落し、米州時間へ。米州時間朝方は低下していた米金利が再び上昇する動きを横目に、148円台半ばまで戻す。続いて発表された米1月ミシガン大学5-10年先の期待インフレ率(速報値)が予想を下回った事を受け、発表直後は148円台前半まで売られるも、ヘッドラインが予想を上回っている事が意識されてか、その後148円台半ばまで買い戻される。その後は米長期金利低下が重しとなり、148円台前半まで再度下落。米州時間午後にかけては週末を控え動き乏しい推移が続き、148円台前半でクローズ。

【金利】

米金利市場は、中期で上昇し、金利カーブはツイストフラット化。1月ミシガン大消費者マインド指数が予想を上回る数値を発表し、早期利下げ観測がまた後退し、前半は上記指標結果を受けた債券売りで相場が上伸。10年債利回りは一時4.19%台半ばを付けた。その後は週末のポジション調整で買い戻され、長期は前日比マイナスで引けた。

【予想】

本日のドル円は方向感に欠ける値動きを想定。明日に日銀会合を控える中、様子見ムードが継続しよう。148円台前半を中心にもみ合うものと予想する。

【本日の予定】

(日本) 流動性供給入札
(アジア) 12月 マレーシア CPI
(アジア) 12月 韓国 小売売上高 / デイスクラフト売上高 / 百貨店売上高
(アジア) 1月 韓国 輸出 20日間 / 輸入 20日間
(アジア) 中国 LPR(1Y、5Y)
(米国) 12月 先行指数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。